

令和 2 年度

かほく市総合教育会議  
議 事 録

令和2年12月16日



## 開 会

### 【山口教育部長】

令和 2 年度かほく市総合教育会議を開催します。

## 市長あいさつ

### 【油野市長】

教育委員の皆さんには、ご多用の中、総合教育会議にご出席いただき、また、日ごろから、かほく市の教育の推進にご尽力いただきお礼を申し上げる。

新型コロナウイルス感染症が止まらない状況であり、第 3 波が来ている。石川県は比較的落ち着いているが、昨日は新たに 6 名の感染者が確認され、累計 9 2 2 名となった。

かほく市では、4 月初めにクラスターが発生した。9 月以降では、9 月 9 日、2 2 日、1 0 月 3 0 日、1 2 月 5 日に 1 名ずつ感染者が確認されているが、感染経路が不明となっている。一人一人がマスクをしながら、「3 密」を避け、注意していくしかない。うつらないことも大切だが、うつさないことも大切である。

子どもたちも、3 月から 5 月末まで、学校が臨時休業となり、夏休みの短縮のほか、様々な感染症対策に取り組んでいただいた。特に中学校 3 年生は、部活動の大会や修学旅行が中止となり、残念な思いをしている。

その中で、教育行政については、外日角小学校の長寿命化工事に引き続き、七塚小学校も完成し、また、児童生徒 1 人 1 台パソコンの整備も進めている。これをいかに有効に使うかが大切であり、課題にもなってくると思う。

本日の総合教育会議では、少人数による学級編制、民法改正に伴う成人式の対象年齢についてご意見を伺いたい。

今後も引き続き、皆さんと連携を図りながら進めていきたいと考えているので、ご協力をお願いします。

### 【山口教育部長】

市総合教育会議運営要綱第 3 条の規定に基づき会議の議長は教育長とする。

議事進行は議長である山越教育長にお願いします。

## 議事録署名委員の指名

### 【山越議長（教育長）】

運営要綱の規定により会議の進行をします。市総合教育会議運営要綱第 4 条第 3 項の規定に基づき議事録の署名を油野市長、山本教育長職務代理者にお願いします。

## 協議・調整事項

### 少人数による学級編制について

### 【山越議長】

少人数による学級編制について、状況等について事務局から説明願う。

**【本山学校教育課長】**

・資料により、少人数による学級編制についての現状について説明をなす。

**【山越議長】**

まずは、教育委員の方から少人数による学級編制について発言願う。

**【山本教育長職務代理者】**

平成 27 年度の総合教育会議で、小中学校の適正配置について協議した際、今後 10 年間に複式学級はできないなどの確認の下で、現状の配置を維持するという話であったと思う。10 年も経たないうちに、令和 4 年度から複式学級が見込まれる。この辺りの動向について、市長さんはどう思われているか。

**【油野市長】**

かほく市となって、人口減少が続いていたが、平成 27 年度に初めて人口がプラスに転じた。平成 27 年度はプラス 12 人、以降、88 人、136 人、平成 30 年度は 257 人のプラスということで、若い世代に「かほく市」を選んでいただいているということが、結果として増加に転じている。

出生数についても、平成 27 年度は 249 人だったものが平成 30 年度は 313 人となり、かほく市となって初めて 300 人を超える出生数となった。それがかほく市の南部に集中しているという状況は、平成 27 年の時点では、そこまで読めなかったというのが実際である。

**【山越議長】**

平成 27 年度の総合教育会議での資料は、文部科学省の 10 年推計を使用しており、それまでの人口動態等から児童生徒数を推計したものであり誤差は生じる。今回の資料は、住民基本台帳に登録された実際に生まれている子どもの数で資料を作成している。当時の資料では、金津小学校、大海小学校は複式学級になることはないであろうという推計であったが、その推計以上に出生数が減ったということだと思う。

**【油野市長】**

平成 27 年というのは国勢調査が行われた年であり、国においても国立社会保障・人口問題研究所の推計により消滅可能性都市を挙げている。かほく市においても、平成 22 年から平成 27 年の国勢調査の結果を基にした推計では、2040 年には約 28,000 人となり、人口が減り続けるという予想がされている時でもあった。

**【山越議長】**

ここでは、ポイントが 2 点あり、1 点は、外日角小学校では、児童の急増が見込まれ、普通教室の不足が見込まれるということ。もう 1 点は、金津小学校、大海小学校で複式学級が見込まれるということである。そういったことから、学校の配置や、また社会に与える影響が大きい事になりますが、教育委員会の権限である通学区域について、ご意見がありましたらお願いします。

**【松井教育委員】**

30 人学級になるという状況は早くて何年度とか可能性はあるのか。かほく市では、市長のおかげでいち早く 35 人学級を取り入れていただき、ありがたい制度であるが、そのような流れの中で、かほく市独自で先行して 30 人学級ができるのか。

私は、30 人学級よりも先に金津小学校の複式学級を早く住民の方に知らせる必要があるのではないかと思う。

### 【山口教育部長】

現在、文部科学省において、30人学級について検討している状況です。具体的にどのように進んでいくかとの情報はありません。政府においても令和3年度の予算編成過程において検討するとしている。

### 【山越議長】

30人学級については、これまでも市長会や教委連、教育長会で少人数学級の実現を要望してきた。今回は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、クローズアップされており、実現には時間がかかると思う。この総合教育会議においては、30人学級となれば、市にとっても施設整備に要する負担やクラスが増えれば、先ほど課長が説明したように市費負担の職員も増やす必要があり、市長にお願いする部分も出てくるので、共通認識を図るために議題としている。

### 【油野市長】

今、財務省と文部科学省で協議していると思うが、財務省の立場からすれば、コロナの関係で30人学級にすることと、子どもたちの教育には30人学級が必要だということは話が別であるという考えだと思う。すぐに30人学級になるとは思っていない。

かほく市では、35人学級を先行して行っているが、30人学級を先行して行う状況にはないと思っている。地域によって複式学級というのは大きな問題であり、通学区域の変更についても、地域の理解が得られにくいということもあると思っている。このままでは、大変なことになるという意識は、持っていないとはいけない。その地域の議員も危機感を持っている。

### 【山越議長】

先ほどの説明にはありませんでしたが、教育委員会として考えられることは、通学区域の変更のほか特認校制度がある。事務局から特認校について説明願います。

### 【本山学校教育課長】

- ・資料により、小規模特認校制度について説明をなす。

### 【山越議長】

我々の立場として、小規模な学校において特認校制度ということも考えられますが、これによって複式学級が解消されるという保障はありませんが、そういった事も場合によっては、考えていく必要があると思う。

先ほど、松井委員がお話していた住民への周知については、私も金津地区に住んでいますが、地域の方からはそういった話も耳にします。保護者の間では、ある程度の認識はあるのではないかと思います。

### 【山本教育長職務代理者】

複式学級については、再来年の話になる。私は複式学級について、デメリットが多いと感じている。何とか回避できることはないかと思う。今ほど話があった特認制度もあるし、校区の変更ができればよいと思う。大海小学校にしても、学園台付近はもともと、大海小学校校下であったものを高松小学校校下とした経緯もあるが、通学区域を変えるということは難しい面もある。そういった事から、複式学級になるということは、事前に周知しておくことも大切ではないかと思う。

### 【山越議長】

通学区域の変更や特認校制度については、教育委員会の権限において行うことになる。私としては、この特認校制度というのが実現可能なのかと思う。ただ、特認校制度を取

り入れたからといって、複式学級が解消される保証はない。

その他、この件についてご意見はありますか。

**【長柄教育委員】**

私も複式学級というのは、先ほどからの話のとおり、解消に向けた取り組みが出来ればよいと思う。

**【粕野教育委員】**

通学区域の見直しにしても、最終的には大人の事情という要因が大きい。子どもたちのために何が最善かを検討できれば良いと思う。

**【山越議長】**

この件については、今後の国の動向、教育委員会において主体的に考えること、場合によっては、市長にお願いすべきことが出てくると思います。そういった事をお互いの立場で認識するというところでお願いしたいと思う。

**民法改正に伴う令和4年度以降の成人式対象年齢について**

**【山越議長】**

次に、民法改正に伴う令和4年度以降の成人式対象年齢について、事務局の方から説明願う。

**【新田生涯学習課長】**

資料により、民法改正に伴う令和4年度以降の成人式対象年齢について説明をなす。

**【山越議長】**

この件については、この場で決定するというものではありませんが、式典ということで、決められることは、この会議で決められればよいのではないかと思う。この件について、発言を願う。

**【松井教育委員】**

私は、この案のとおり20歳で行うことに賛成です。参加者（20歳）の思いが入った企画で開催できればよいと思っている。

**【山越議長】**

今、年齢については20歳というご意見でありました。年齢については20歳ということでのよろしいですか。

(はいという声あり)

**【山越議長】**

それでは、教育委員会としても20歳ということで、市長には只今の意見を踏まえ、最終的な判断をお願いしたいと思う。

**【山本教育長職務代理者】**

原案については、それでよいと思うが、今回の改正による18歳成年に対して、すでに選挙権もあり、自覚を持たせるということで、市長からのメッセージを送ったりできないものか。

**【油野市長】**

趣旨は理解できる。ただし、我々選挙で選ばれる身としては、市長名でのメッセージを送るとなると公職選挙法に触れる可能性もあるので、選挙管理委員会に確認する必要がある。かほく市として、教育委員会としてメッセージを送ることは可能かと思う。

**【山越教育長】**

令和5年の1月の開催が最初になると思うが、少し時間があるので、内容については、事務局で検討していただきたい。

**そ の 他****【山越議長】**

最後に、その他ということで、教育委員の方から何かありましたらお願いする。

**【紘野教育委員】**

今年は、コロナに始まり、コロナに終わった感じである。来年こそは明るい話題を期待する。市においても、感染症対策、景気対策を引き続き、お願いしたい。

**【長柄教育委員】**

かほく市で行っている不妊治療の助成について、うれしく思っている。テレビでかほく市の取り組みが紹介されていた。引き続き、市長にはお願いしたい。

**【油野市長】**

この事業については、平成23年から始めている。きっかけは平成20年に出生数が大きく減った。このようなことが続くと大変なことになるとの思いから、若い世代にかほく市に来ていただく、転出しないようにするにはということで、平成22年から「若者マイホーム取得奨励金」を始めた。その次の年からは「新婚さん住まい応援事業」を始め、また、本当に赤ちゃんがほしい方がおられる中で、少しでも応援できればとの思いから「不妊、不育治療の助成」を始めた。最初の予算は500万円であり、その年は不妊治療によって9人の赤ちゃんが生まれている。昨年度の予算は、2000万円となっており、33人の赤ちゃんが生まれている。こういった流れの中で、若い世代にかほく市を選んでいただいているのではないか。これからは、国からの補助も拡充され、保険適用になることからかほく市の負担も減るのではないかと思う。

**【山越議長】**

会議の冒頭、市長の挨拶にもあったGIGAスクールの児童生徒1人1台端末がいよいよ整備され、活用していく事になります。そういった関係で、国の財政支援もありますが、市長にお願いすることも多々あります。予算要求もしておりますので、是非ともよろしく願いいたしまして議事進行を事務局にお返しする。

## 閉 会

### 【山口教育部長】

以上で、令和2年度かほく市総合教育会議を閉会します。  
お疲れ様でした。

午後2時40分 閉会

議長（教育長）            山 越            充

署名（市長）            油 野 和一郎

署名（教育委員）        山 本 滝 男